

受験番号

# 国語

(100点 60分)

(2025年度C)

## 注意事項

- 1 試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子の表紙の受験番号欄に受験番号を書いてください。  
複数の受験番号がある場合、受験票に記載されているメイン受験番号を記入してください。
- 3 この問題冊子は表紙を除き、15 ページです。
- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせてください。
- 5 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、正しく記入してください。
  - ① 氏名欄 漢字氏名を記入してください。
  - ② 科目名欄 「国語」と記入してください。
  - ③ 受験番号欄 受験票に記載されているメイン受験番号を記入し、その下のマーク欄に、正しくマークしてください。
- 6 受験番号が正しく記入されていない場合は、採点されないことがあります。
- 7 解答は、解答用紙の解答マーク欄にマークしてください。  
例えば 

20
----

 と表示のある問いに対して ③ と解答する場合は、次の(例)のように 20 の解答マーク欄の ③ にマークしてください。

(例)

解答マーク欄												
20	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⊖	⊕

- 8 問題冊子の余白等は適宜利用してもかまいませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 9 不正行為について
  - ① 不正行為に対しては厳正に対処します。
  - ② 不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者が注意します。
  - ③ 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取りやめさせ退室させます。

国

語

(解答番号

1

5

32

)

第1問 次の文章を読んで、後の問い(問1～問9)に答えなさい。

気候変動問題は、世界の重大な問題であるにもかかわらず、市民の関心を引きにくいです。まず、この傾向が心理学や行動科学の観点から、どのように分析されているのかを共有したいと思います。

また、この傾向は日本で特に顕著であるようにみえます。これを改善するための日本でのメディアを通じたコミュニケーションの見直しを考えます。(中略)

気候変動問題を人間が道徳的に判断する上での心理学的な阻害要因は六つあります。一つめは、「抽象性と認知的な複雑性」です。温室効果ガスの排出、気候の変化、人間社会や生態系への影響という経路を経て発現する気候変動のリスクは、**A**的に把握することが難しく、理解するために脳への**Fa**を強めます。人間活動の影響がなくても気候が自然にも不規則に変動することなどを考えると**1**なおさらです。気候変動は、わざわざ努力して脳を使わなければ把握しにくい問題なのです。

二つめは、「意図的でない行動は責めにくい」ということです。他者や生態系に危害を加えることを目的に温室効果ガスを排出している人は普通ではありません。我々は誰も意図して気候変動を進めたいとは思っていないのに、気候変動の原因を作ってしまったっています。人間の道徳的直観は、意図的な悪事には反応しますが、意図的でない場合は見逃す傾向があるため、気候変動に反応しにくいのです。

三つめは、「ギルティ(罪悪感) <sup>(注)</sup>バイアス」です。人間活動が原因で気候変動が起きていると聞くと、罪悪感が湧き、自分が責められているというネガティブな感情が**b**カ**n**キされ、人々は防衛的に反応しがちです。自分が普段特に気候変動に配慮した行動をしていないという自覚があればなおさらでしょう。この気持ちになると、気候変動の話題に対して距離を置いたり、人によっては反発したくなるかもしれません。

四つめは、「不確実性が生む希望的観測」です。気候変動のリスクの見通しや対策技術の発展の見通しには不確実性がありますが、それは良い方向にも悪い方向にも**コ**ロ**び**うるということです。しかし、人間には楽観バイアスがあり、不確実性を都合よく解釈して、リスクは小さいかもしれないし、**B**的な技術が解決してくれるかもしれないと、根拠なく期待する傾向が生じます。おそらく、前述したように「自分が責められている」気がしていると、責任を回避するために、さらにこのように**C**的に考えがちでしょう。

五つめは、「道徳的な部族主義」です。いわゆる「リベラル」の人と「保守」の人では心理学的な道徳基盤への感度が異なり、リベラルは「ケア」と「公正」という二つの基盤に依存するのに対して、保守はそれら二つに「忠誠」、「権威」、「神聖」を加えた五つの基盤すべてに依存するという傾向が知られています。気候変動の道徳的問題は主としてケア(深刻な被害を受ける人々や生態系への配慮)と公正(原因に責任が無い人々が深刻な被害を受ける構造的な不正の是正)の道徳基盤に訴える形になるため、リベラルな価値観の人には響きやすいですが、保守的な価値観の人には部分的な関心しか持たれない可能性が高いです。

こうして、「リベラルは気候変動問題を重視し、保守は軽視する」という<sup>3</sup>ステレオタイプが生じてしまうと、気候変動が両者の**D**的なテ

マの一つと認識され、(米国等で顕著なように) 保守のアイデンティティを持つ人は無条件で気候変動問題を軽視したり対策を敵視するということも起きます。

最後の六つめは、「長い時間軸と遠い場所」です。気候変動の被害は現在よりも将来世代に対してより顕在化しますし、深刻な被害が出るのは [E] 的には先進国より発展途上国の人々です。そこで、気候変動問題は将来どこか遠くで起こる問題と認識されがちです。特に、人間には自分の属する「内集団」とその外側の「外集団」を区別し、内集団を優遇する傾向(内集団バイアス)があるため、「将来の遠くの誰か」を外集団とみなしてしまふと共感が働きません。この傾向は保守的な価値観の人に起きやすいと考えられます。

以上を踏まえた上で、ここからは、メディアを含めた日本の状況について考えてみたいと思います。

まず、現状の日本において気候変動問題について積極的に知りたい、論じたい、行動したいと考える人の割合は高くなさそうです(個人的な想像では、阻害要因の「複雑性」と「罪悪感」が効いている気がします)。すると、メディアはニーズが小さいと判断し、気候変動を頻繁には取り上げなくなり(これも想像ですが、メディアの番組制作側にも一と三が効いて気候変動を避けがちな人が多いと思います)。すると視聴者も関心を持つきっかけを得にくいという<sup>4</sup>悪循環になります。

この悪循環を断ち切る方法としては、気候変動に関心の高い視聴者がメディアに要望すること、そしてメディアの中で気候変動に関心が高い人たちが関係者を説得して、気候変動を取り上げる頻度を増やすことが考えられます。

そして、まさに最近、そのような動きが立ち上がりつつあります。昨年の夏に小学校教師の小林悠さんが始めたオンライン署名「暑さの原因報道して」には約二万筆が集まり、報道各社に届けられました。

これに応えるかのように、今年六月には井田寛子さんと正木明さんの呼びかけにより、気象キャスター・予報士の有志四〇名以上が、日々の気象と気候変動を関連付けて発信することを目指す共同声明を発表しました。

<sup>5</sup>これらの動きを、一般社団法人 Media is Hope という組織を通じて多様な人たちがサポートしています。筆者自身も、応援コメントを送るなどの形で機会がある毎に協力してきました。

とにかくこれで、準備は ドットノ いました。あとは、どのような機会に何を発信していけるかが勝負になります。

まず、気候変動が人々の意識に上る機会を単純に増やしていくことが有効なのは間違いないでしょう。Media is Hope の勉強会で、気候変動メディアの活動を国際的に推進している Covering Climate Now のマーク・ハーツガード氏が紹介してくれたフランスの天気予報番組では、スタジオで天気を説明する画面のすぐ脇に、地球温暖化を示す過去の気温上昇のグラフが常に置かれていました。つまり、今日の天気を説明する背景として常に気候変動を意識する状況が演出されており、グラフは頻繁に画面に映るため、気象キャスターが気候変動について毎回ゲン。キユウする必要もありません。日本でもこれができたらよいと思いました。



問1 傍線部 a～e のカタカナにあたる漢字と同じ漢字を含むものを、各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。

〔解答番号〕

1

5

a フタン

1

- ① 心身をタンレンする。
- ② 高度な技術にキョウタンする。
- ③ 商品の販売をタントウする。
- ④ 海底をタンサクする。
- ⑤ 準備バンタンぬかりがない。

b カンキ

2

- ① 証人をカンモンする。
- ② 宇宙旅行からキカンする。
- ③ カンブに登用される。
- ④ カンゲン楽を演奏する。
- ⑤ 来客をカントイする。

c コロびうる

3

- ① 春のサイテンに臨む。
- ② 赤字をホテンする。
- ③ ゴテンのような邸宅。
- ④ 責任をテンカする。
- ⑤ 駅前にテンポを構える。

d トトノい

4

- ① セイコウ雨読の日々を送る。
- ② ギセイ者をいたむ。
- ③ しばらく事態をセイカンする。
- ④ 鳥がイツセイに鳴き出す。
- ⑤ セイゼンとした町並み。

e ゲンキュウ

5

- ① キュウヨの策を講じる。
- ② 事態がフンキュウする。
- ③ 校舎がロウキュウ化する。
- ④ キュウ第点をつける。
- ⑤ 手当をシキュウする。

問2 空欄 A ～ E を補うのに最も適当な言葉を、次の①～⑥のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。(同じ番号を二度以上選んではいけません。)[解答番号 A || 6、B || 7、C || 8、D || 9、E || 10]

- ① 楽観      ② 相対      ③ 革新      ④ 直観      ⑤ 初歩      ⑥ 対立

問3 傍線部1「なおさらです」とありますが、ここで筆者が言おうとしている事柄の説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。[解答番号 11]

- ① 人間活動による気候変動は何段階ものプロセスからなる複雑な現象なので、その理解には、自然の気候変動の場合以上に、高度な思考力が必要だということ
- ② 人間活動による気候変動には一定の規則性があるのに対して、気候の自然な変動は不規則なので、よほど努力しないと把握できないということ
- ③ 気候変動は人間社会や生態系に影響を与えるが、人間活動による変動に自然の変動が加わると、ますますその影響は大きくなるということ
- ④ 人間活動による気候変動という現象は、ただでさえ理解しにくいうえに、気候は自然にも不規則に変動するので、いつそう捉えにくいということ
- ⑤ 人間活動による気候変動が社会や生態系に与える影響にもまして、自然に起こる気候変動の影響は一層対処がむずかしいということ

問4 傍線部2「気候変動の話題に対して距離を置いたり、人によっては反発したくなるかもしれませんが、その理由の説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 12 〕

- ① 気候変動問題を軽視し、その対策を敵視している人は、気候変動に関する責任を指摘されると、不当に罪を着せられていると感じて、怒りを覚えるから。
- ② 人間の活動が気候変動の原因であると言われると、気候変動に配慮した行動を取っていない人ほど、自分が責められているように感じるから。
- ③ 気候変動の影響をそれほど感じていない人は、人間の活動を見直さなければならぬと聞くと、これまで続けてきた自分の生活が脅かされるように思うから。
- ④ 保守的な人は、気候変動の責任を突きつけられると、リベラル派から攻撃されていると思って、反撃しようとするから。
- ⑤ 気候変動に関心だった人々は、その複雑なメカニズムについての説明を聞かされると、自分の無知を非難されているように感じて、拒絶したくなるから。

問5 傍線部3「ステレオタイプ」の意味として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号 13 〕

- ① ご都合主義
- ② 固定観念
- ③ 時代錯誤
- ④ 板ばさみ
- ⑤ 原理主義

問6 傍線部4「悪循環」が起こる原因の説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号〕

14

- ① 気候変動問題について知りたい、論じたい、行動したいという人が少ないから。
- ② メディア関係者には、気候変動問題に関心のない人が多いから。
- ③ メディアが、深刻な内容の番組より、楽しい番組を放送しようとするから。
- ④ メディアが、視聴者の関心が低いことは、あまり取り上げようとしないから。
- ⑤ メディアが、視聴者の本当の関心を理解しないまま、放送内容を決定しているから。

問7 傍線部5「これらの動き」に含まれることとして最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号〕

15

- ① メディア関係者が先頭に立って、気候変動問題の解決を目指すこと
- ② メディアに、気候変動についてもっと頻繁に取り上げるよう求めること
- ③ メディアを通じて、気候変動問題の解決を求める人々の連帯を呼びかけること
- ④ メディアで、気候変動問題に対する人々の関心の低さを指摘し、反省を求めること
- ⑤ 複雑な気候変動問題を理解できるよう、メディアを利用して人々を啓蒙すること

問8 傍線部6「人間が原因なので」の空欄を補うのに最も適当な言葉を、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

〔解答番号〕

16

- ① 人間に止められる
- ② 人間には止められない
- ③ 仕方がない
- ④ いずれは止まる
- ⑤ 当分止まらない

問9

本文の内容と合致するものを、次の①～⑥のうちから二つ選びなさい。(解答の順序は問いません。)

17

18

- ① 日本には保守的な考え方が多いので、気候変動問題に積極的に取り組むためには、リベラルな人間を増やさなければならない。
- ② 気候変動問題に関心が高い人々はケアと公正という道徳的基盤に依存する傾向があるが、関心の低い人々はそれら以外の基盤にも依存する傾向がある。
- ③ 多くの人々には、自分の行動が気候変動と関連しているという意識はなく、彼らに気候変動の責任を問うのは酷である。
- ④ 自分たちの子孫である将来世代の人々と、開発途上国の人々を、気候変動の深刻な被害を受ける人間として、同列に論じることは許されない。
- ⑤ 天気の説明と同時に地球温暖化のデータを表示するフランスの天気予報のやり方は、人々に気候変動を意識させるよい方法である。
- ⑥ 不確実な事柄を希望的に解釈して、根拠なくハッピーエンドを期待する傾向は、深刻化している気候変動問題に関しては、今やほとんど見られない。

第2問 次の文章を読んで、後の問い(問1～問9)に答えなさい。

今私たちが目の当たりにしている同調圧力は、現代における新たな共同性への圧力(これを「ネオ共同性」と呼んでみましょう)なのではないかなと私は考えています。日本社会はハード的部分(「物的環境や法的な制度」では十分近代化したのかもかもしれませんが、ソフト的部分(「精神面や価値観」)ではまだまだムラ的な同質性の関係性を引きずっているような気がします。しかしそうしたソフト的部分を支えるはずの現実的根拠が、ムラとイエの現実を支えた伝統的社会とはもはや違っているのです。かつてのムラ的な伝統的共同性の根拠は、生命維持の相互性でした。貧しい生産力を基盤とした昔の「庶民の生活においては、お互いに支えあつて共同的なあり方をしていなければ生活が成り立たなかつたのです。ですから伝統的なムラ的共同性は、「出る杭は打たれる」X「といったことわざが示すような同調圧力が強い半面、お互い生活を支えあい助け合うという相互扶助の側面も大きかつたのです。

しかし現代におけるネオ共同性の根拠にあるのは、「不安」の相互性です。多くの情報や多様な社会的価値観の前で、お互い自分自身の思考、価値観を立てることはできず、不安が増大している。(イ)、とにかく「群れる」ことであつた不安から逃げよう、といった無意識的な行動が新たな同調圧力を生んでいるのではないかと考えられるのです。

こうした問題に関連して、リースマンというアメリカの社会学者が『孤独な群集』(原著初版一九五〇年)という本のなかで、人間が持つ「社会的性格」を三つに類型的に分けて、そのうえで現代人が帯びる特徴について考察しています。

その類型とは、「伝統指向型」<sup>2</sup>「内部指向型」「他人指向型」の三つです。

伝統指向型とは、近代以前の社会に支配的な社会的性格で、自分の主体的な判断や良心ではなく、「昔からこのようになってい」るか「家長がこういつているからこうなんだ」といった形で外面的権威や恥の意識にしたがつて行動の基準を決めるタイプです。内部指向型とは、近代の形成期に見られる社会的類型で、自分の内部に心の羅針盤を持ってその基準に照らして自分の行動をコントロールするようなタイプの人間です。そしてリースマンは現代人の性格類型を「他人指向型」と名づけます。他人指向型とは、文字通り自分の行動の基準を他人(私の表現だと他者ということになります)との同調性に求めるタイプの人間のことを指しています。

リースマンの言う「伝統指向型」「他人指向型」は、さきほどの私の共同性についての考察と照らし合わせてみると、それぞれ「ムラ的共同性」「ネオ共同性」に対応するというわけです。そしてそれぞれに性格づけの異なる同調圧力が見られるのです。

「同調圧力」「ネオ共同性」という言葉をキーワードにして、自分たちの身のまわりをとらえなおしてもらつと、意外と見えてくるものがあるのではないのでしょうか。

(ロ)、「ねえみんな、これって『同調圧力』だから、もう少しゆるやかな関係にしようよ」「そうだね、じゃあその辺バランスよくやっつていこう」なんてことには、すぐにはならないでしょう。でも、言葉には他の人とのコミュニケーションの手段であると同時に自分の内面の気持ちに

c. 輪郭を与えるという大事な働きもありますよね。もやもやした気持ちが言語化できただけでも、精神的にずいぶん違ってくるのではないのでしょうか。

同調圧力のような形でお互いに消耗しあうことが、なるべく無いような友だちの作り方が、そろそろ必要なのではないかと思えます。

悩んでいないで、そういう同調圧力、あるいはいじめられる—いじめられるという関係から、少しでも抜け出す発想を持つとうと考えることです。具体的にどうするかはさまざまなケースがあるので、そのケースに即して考えなくてはなりません。しかし発想の基本、関係を考え直す原理的な考え方というものはあります。(1)

それが私がとくに強調したい「同質性」から「並存性」へという考え方です。

人の間と書いて「人間」というくらいですから、もともと人間は共同の本質を帯びていると考えられます。その本質が目に見える形で直接現実の人間関係として具体化されたあり方が、かつてのムラの共同体なわけです。そこでは、つながりをものすごく緊密にして、とにかく「一緒にいる、一緒にいる」ということがとても大事に考えられていたわけです。(2)

「みんな同じ」ということをとりわけ大切に感じる方、考え方をここでは同質性の重視と呼びましょう。そして共同性という人間の本質が「同質性」をとりわけ強調されて現実化される性質を持つ場合、「同質的共同性」というキーワードを用いることにします。これは、伝統的なムラ社会のようなところでは、従来望ましいと考えられてきた人間関係のあり方です。

(ハ)、現代社会において人間の共同性は、一方でとても抽象的な形で、直接的でなく間接的、媒介的な性質を帯びてますます広がっています。

みなさんはあまりお気づきになっていないかもしれませんが、「貨幣(＝お金)」に媒介された人間関係がそれです。貨幣が社会全体に浸透しているということは、じつは人間の共同性がなくなつて、みんなバラバラになつてしまったのではなく、目に見えない間接的な形で人間の共同本質が世界規模に拡散したと考えた方が正確です。(3)

貨幣とは、共同性という人間の本質が、抽象的な形で具現化したものと理解することができます。これを「抽象的共同性」と言い表すことができます。

(ニ)、私たちが着ているジャケットはお隣の国、中国の名も知らない誰かが縫製したものかもしれませんが、今飲んだコーヒの豆は地球の裏側のブラジルからいろいろな人の手を介して運ばれてきたものかもしれません。(4)

個人が経済的に自立するというのは、貨幣を媒介することによって、世界レベルで他者たちの活動へ依存するということがYなのです。

生活の基盤をつくる人びとの(つながり)が、直接的に目に見える人々たちへの直接的依存関係から、貨幣と物を媒介にして目に見えない多くの人たちへの間接的依存関係へと変質したのです。これが現代の共同性の実現の一方のあり方です。

(ホ)、こうした生活基盤の成立によって、家族関係や友人関係といった身近な他者との関係において親しさや暖かさを純粋に求める時間的

余裕や意識のあり方（＝よりプライベートな関係や活動を大切にするなど）が可能になっているのです。

しかし現代社会におけるこうした共同性の二重の成り立ちにきちんと対応するしかたで、人びとの精神的構えが出来上がっていないのが現状なのではないでしょうか。（5）

貨幣—経済的ネットワークを背景にして、各家庭ごとのあるいは一人ひとりの活動の自由や多面化が進行しているにもかかわらず、「みんないっしょ」という同質性が強く求められると、やっかいなことが起こるわけです。

（菅野仁『友だち幻想 人と人の（つながり）を考える』による）

問1 傍線部a～eの漢字の読みが間違っているものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号〕19

- ① a 庶民（しよみん）
- ② b 扶助（ほじよ）
- ③ c 輪郭（りんかく）
- ④ d 浸透（しんとう）
- ⑤ e 縫製（ほうせい）

問2 空欄（イ）～（ホ）を補うのに最も適当な言葉を、次の①～⑥のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。（同じ番号を二度以上選ぶはいけません。）〔解答番号〕イ 20、ロ 21、ハ 22、ニ 23、ホ 24

- ① もちろん
- ② そして一方で
- ③ だって
- ④ ただし
- ⑤ その結果
- ⑥ しかし

問3 空欄 X を補うのに最も適当なことわざを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号〕25

- ① 石橋をたたいて渡る
- ② 弘法も筆の誤り
- ③ 長いものには巻かれろ
- ④ 袖振り合うも多生の縁
- ⑤ 情けは人のためならず

問 4 傍線部 1 「『不安』の相互性」とはどういうことですか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

〔解答番号〕

26

- ① 同調圧力の強いムラの共同体のような生活を支えあう相互扶助が期待できない不安を、他人の基準に従うことで忘れ去ろうとすること
- ② 情報が増え社会的価値観が多様化する中で、他者と群れることで自分自身の思考や価値観を定められない不安から逃れようとする
- ③ 現代における新たな共同性への圧力が情報の増大や社会的価値観の多様化を生み出し、不安をいなく人間同士が群れるようになること
- ④ ムラとイエの現実を支えていた伝統社会から解放された人間が、自分の思考や価値観を求めて相互に無意識的に行動しようとする
- ⑤ 伝統的共同性が維持していた生命維持の相互性が失われ、それに不安を感じる人間が外面的な権威に身を委ねて群れるようになること

問 5 傍線部 2 「『内部指向型』」と言える具体例として最も適当なものを、次の①～⑥のうちから二つ選びなさい。(解答の順序は問いません。)

〔解答番号〕

27

28

- ① 私の書く小説は様式的に古いと言われるが、自分の表現したいことにふさわしい様式を選んだだけのことだ。
- ② 最大多数の最大幸福を実現することが政治家の役目であり、自分の信念などに固執することは間違っている。
- ③ 新しい芸術が人々にもてはやされることはあるが、それは一過性のものであって、本物の価値とは言い難い。
- ④ 私の住む団地で一度断絶した祭の復興計画が進んでいるが、やはり祭は日本人の心の故郷だからに違いない。
- ⑤ 私が選挙で投票するべき候補者を決める基準は、環境問題に真摯しんしに取り組んでいるかどうかという点にある。
- ⑥ 社内の会議で意見が分かれた場合には、直属の上司の普段の言動などを勘案して発言するのが適切だと思う。

問6 傍線部3『同質性』から『並存性』へ」とありますが、本文の内容に基づけば、「並存性」とはどのようなことだと考えられますか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号〕

29

- ① 同調圧力に屈しつつも、内面では自分の考えを曲げないこと
- ② たとえ気に食わない相手であっても、共感しようと努めること
- ③ 自分とは異質な他者に対して、付かず離れずの関係を保つこと
- ④ 貨幣と物を媒介にして、目に見えない他者と間接的につながる事
- ⑤ 同調圧力に屈せず、自分の行動の基準をどこまでも貫くこと

問7 空欄 Y を補うのに最も適当な言葉を、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号〕

30

- ① 表裏一体
- ② 同義反復
- ③ 二律背反
- ④ 不即不離
- ⑤ 一心同体

問8 本文から次の文が抜け落ちています。どこに戻すのが最も適当ですか。後群の①～⑤のうちから一つ選びなさい。〔解答番号〕

31

それが「グローバル化」ということの意味です。

- ① (1)
- ② (2)
- ③ (3)
- ④ (4)
- ⑤ (5)

問9 本文を読んだA～E五人の生徒が意見を述べ合いました。それらの意見の中で筆者の考えと最も近いものを、次の①～⑤のうちから一つ選  
びなさい。〔解答番号〕

32

- ① A 生産力が豊かになって人間の相互扶助も行き渡った現代社会でも、人間の生活を支える同調圧力の必要性は昔とあまり変わっていないと思うよ。
- ② B 人間の生活が豊かになったことは事実だけど、現代では外面的權威に従って行動する人間が増えたから、同調圧力がより強くなっていると思う。
- ③ C いや、自分の心で自分をコントロールしているのが現代人だから、自分の基準を他人に強制するという同調圧力が人々を不安にしているんだよ。
- ④ D 行動をコントロールできている現代人はあんまりいないと思うよ。それよりも社会に浸透した貨幣に依存するから不安になるんじゃないかな。
- ⑤ E でも、社会への貨幣の浸透は共同性を抽象的で間接的なものにするから、人々が同質性を求めなくなれば同調圧力を解消できるかも知れないよ。